

学内グラント 終了後報告書

平成19年度 学内グラント報告書

地域住民の健康意識向上のためのプログラムの開発

研究代表者 柴崎 智美(埼玉医科大学 地域医学・医療センター)

研究分担者 鈴木 洋通¹⁾, 河津 捷二²⁾, 大野 洋一¹⁾,菅野 義彦³⁾, 荒木 隆一郎¹⁾, 宮崎 孝¹⁾

研究の概要

平成20年度以降, メタボリックシンドロームをターゲットとした特定健康診査と, その後のリスクの程度に応じた積極的な特定保健指導が40歳以上の健康診断に導入された。

本研究では, 毛呂山町において①保健・医療・福祉・介護の現状の把握②生活習慣病の実態調査③生活習慣病予防を目的とした効果的な健康教育の検討④特定健診・特定保健指導プログラムの推進を実施した。地域住民の健康に対する意識, 生活習慣の現状を把握し, それらが健診受診行動とどのような関連を持つのかを検討するとともに, その成果から, 女性の健康意識の向上を図ることを目的として, 平成20年度, 21年度にかけて, 小学校学校保健委員会(1校), 就学时健康診断(2校), 教育研究講演会(1回), 小学4年生保健授

業(1校)で講演を行った。その他, 隣接する市において学校保健委員会, 町において健康教育講演会で講演を行い, 生活習慣改善のための成果の発表, 健康教育を行った。

また, 毛呂山町における特定健康診査は, 集団を基本とし地区医師会による個別健診も加えて, 受診率は平成20年度, 21年度と増加し, 平成19年度の約2倍になった。特定保健指導も積極的支援対象者に対して, 糖負荷試験, 血管年齢測定などのオプション検査を追加するなど, 魅力ある健診, 保健指導を実施した。今後も保健指導前後の身体所見, 血液所見等の変化について, 継続して研究していく。

謝辞

研究遂行に当たっては, 毛呂山町保健センター保健師, 職員の皆様, 毛呂山町住民課国保年金係の職員の皆様に多大なるご協力をいただきましたことをここに深謝申し上げます。

1) 埼玉医科大学 地域医学・医療センター

2) 埼玉医科大学 健康管理センター

3) 埼玉医科大学 医学教育センター